


# 第45期 中間報告書

平成25年5月1日～平成25年10月31日

 MICS化学株式会社

  
証券コード：7899

## 株主の皆様へ

平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第45期第2四半期連結累計期間（平成25年5月1日～平成25年10月31日）の報告書をお届けするにあたり、業務の概況、及び業績等についてご報告申し上げます。

本年度前半におけるビジネス環境は「営業の概況」でご説明いたしますように、政権交代に伴う経済政策が変化し、為替の急激な変化が多く企業の好転していますが、食品関連の包装材事業を中心に据える当社経営環境としては、製品の原材料が輸入される原油から作られていることもあり、逆風となっております。また、個人の節約志向は未だ強く、厳しい経営環境から脱するには今しばらく時間がかかるものと思われま

す。このような状況のなか、当第2四半期連結累計期間の売上高は13億9百万円、経常利益は25百万円、四半期純利益は7百万円となりました。

上記のような実績及び今後の成長への投資などを総合的に勘案し、配当金につきましては、中間配当金として1株当たり4円とし、支払開始日を平成26年1月8日とさせていただきますので、株主様のご理解を心よりお願い申し上げます。

さて、本年度の重点アクションとしては、

- ①新製品の拡販：深絞り用フィルム、三方袋規格品をより多くのお客さまに認知していただく
- ②非食品用途向け製品の商権確保：自動車関連、メディカル用途のシェアを増加し、リスク分散を図る
- ③海外マーケットへの展開：中国営業法人を基点に輸出入の拡大
- ④内部体質の強化：ものづくり力の強化とSCMの徹底で、製品のQ/C/Dを磨く

の取り組みを推進しており、顧客ニーズを先取りした魅力ある製品、心地よいサービスを継続的に提供していくことにより競争力を維持強化することに加え、攻めの市場開拓の検討も実行し、更なる飛躍を目指しております。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解をいただき、今後とも引き続き変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年1月



代表取締役社長  
三宅利定

## 通期の見通し

第45期（平成25年5月1日～平成26年4月30日）通期につきましては、食材の虚偽表示問題や消費税率の引き上げの個人消費へどのように影響するのか先行き不透明な状況が見込まれますが、アベノミクス効果でどこまで国内景気が回復するのか、当社グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況で推移するものと思われま

す。更に、為替や原油・ナフサ価格の動向は当社経営にとって大きな変動要因であります。

このような状況のもと、本年度の重点アクションを全社一丸となって行うことで通期予想を必達する所存であります。

売上高	通期予想 (第45期) <b>2,700</b> 百万円 前年実績(第44期) 2,568百万円	(前期比) <b>5.1%</b> 増
営業利益	通期予想 (第45期) <b>35</b> 百万円 前年実績(第44期) 22百万円	(前期比) <b>57.6%</b> 増
経常利益	通期予想 (第45期) <b>50</b> 百万円 前年実績(第44期) 43百万円	(前期比) <b>16.2%</b> 増
当期純利益	通期予想 (第45期) <b>20</b> 百万円 前年実績(第44期) 29百万円	(前期比) <b>△31.7%</b>

## 営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融緩和策や経済政策を背景に景気回復に向けた一定の動きが見られました。しかしながら、消費税増税による将来的な影響や所得環境の不安、電気料金の他、食品や日用品の値上げ、新興国経済の成長鈍化や欧州経済低迷の長期化などが懸念され、先行き不透明な状況のまま推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは「フィルミックス」シリーズによる多角的に市場をつかむ活動を継続中であり、食品分野での手詰め需要から自動給袋機向け需要への対応拡大や、非食品分野である医療用、産業用向けでの、新たな需要を掘り起こす活動で販売の拡大に努めてまいりました結果、売上高は13億9百万円（前年同四半期比0.6%増）となりました。

利益につきましては、全社あげてのコスト削減に取り組みましたが、昨年の原材料価格の高騰による影響が色濃く残り、営業利益は15百万円（前年同四半期比43.7%増）となりました。また、受取利息や作業くず売却益の計上も加えた経常利益は25百万円（前年同四半期比30.1%増）、四半期純利益は7百万円（前年同四半期は四半期純損失7百万円）となりました。

用途別の売上高につきましては、食品分野では、深絞り用途ならびに薄くて強いフィルム（ST）の拡販に加えて、サイドシールを施した5層三方袋（SBN）規格の拡販に注力しましたが、7億85百万円（前年同四半期比1.4%減）となりました。

非食品分野では、自動車向け製品が堅調な伸びを見せていることに加えて、昨年参入した医療器具用袋や従来の安定量産品が伸びてきましたが、電子分野が大きく落ち込み、2億57百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

商品等につきましては、前期同様に突き刺し強度の高いフィルム（SPパック）の堅調な推移と、子会社エイワファインプロセシング(株)の加工によるシュリンクフィルムの販路拡大などにより、2億65百万円（前年同四半期比8.3%増）となりました。

用途別売上高は次のとおりであります。

### 売上高の内訳

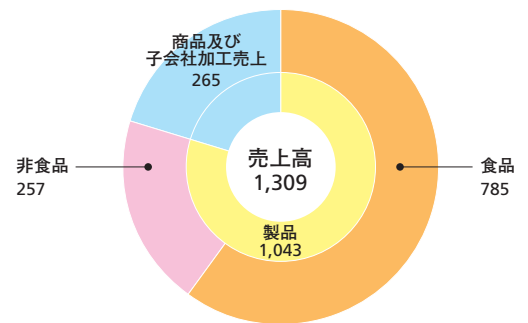
(単位：百万円)

用途別	第45期第2四半期累計 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)	
	売上高	前年同四半期比(%)
食品	785	△1.4
非食品	257	△1.9
製品合計	1,043	△1.5
商品及び子会社加工売上	265	8.3
合計	1,309	0.6

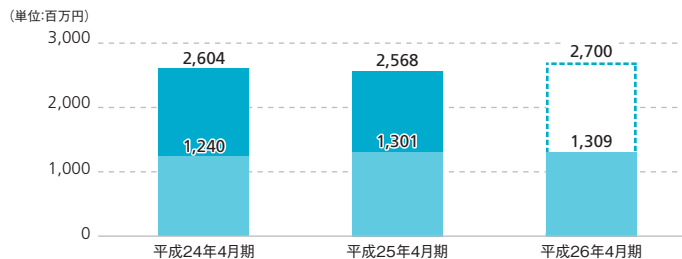
(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 第45期第2四半期累計実績

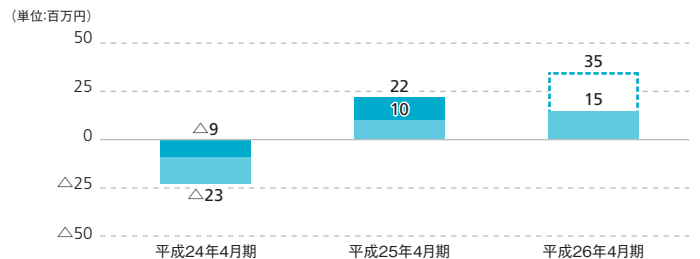
(単位：百万円)



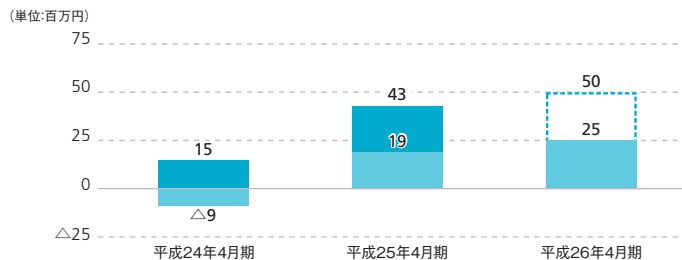
### 売上高



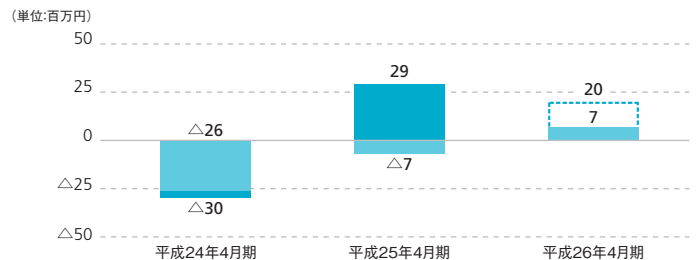
### 営業利益



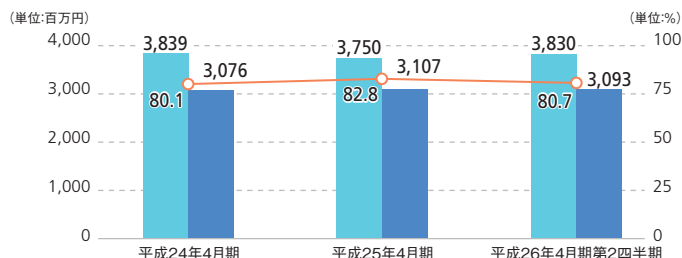
### 経常利益



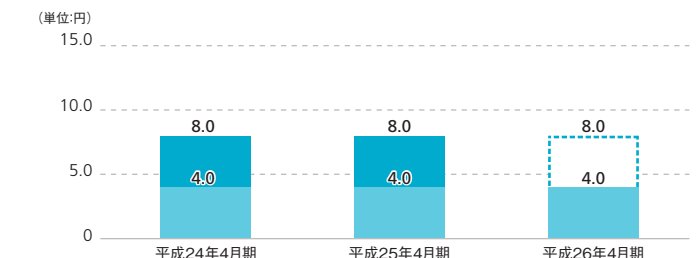
### 四半期(当期)純利益



### 総資産、純資産、自己資本比率



### 1株当たり配当金(年間)



## 四半期連結財務諸表

### 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期末 (平成25年4月30日現在)	当第2四半期末 (平成25年10月31日現在)
<b>資産の部</b>		
1 流動資産	2,421	2,512
固定資産	1,329	1,318
有形固定資産	1,254	1,246
無形固定資産	0	0
投資その他の資産	74	71
資産合計	3,750	3,830
<b>負債の部</b>		
流動負債	571	684
固定負債	71	52
負債合計	643	737
<b>純資産の部</b>		
株主資本	3,489	3,476
その他の包括利益累計額	△382	△382
純資産合計	3,107	3,093
負債純資産合計	3,750	3,830

### 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
売上高	1,301	1,309
2 売上原価	917	951
売上総利益	383	357
3 販売費及び一般管理費	372	341
営業利益	10	15
営業外収益	14	10
営業外費用	5	0
経常利益	19	25
4 特別損失	13	—
税金等調整前四半期純利益	5	25
法人税、住民税及び事業税	7	7
法人税等調整額	6	10
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△7	7
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7	7

### ポイント解説

- 受取手形及び売掛金が前期末より増加したことによるものです。前期下期に比べて当期上期の売上増によるものです。
- 材料価格の値上げ影響等により製造原価が前年同期より増加したことにより増えています。
- 全社あげての経費削減等によるものです。
- 前第2四半期は投資有価証券を売却し特別損失を計上しましたが、当第2四半期は特別損失はありません。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	110	33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△134	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23	△22
現金及び現金同等物の増減額	△47	△34
現金及び現金同等物の期首残高	716	777
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	7	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	676	742

## トピックス

### 上場株式の配当金に関する『源泉徴収税率』変更のご案内

- ◆平成26年1月1日以降に支払いを受ける、上場株式の配当金には、原則として20%（所得税15%、住民税5%）の源泉徴収税率が適用になります。
- ◆また、平成49年12月31日まで、復興特別所得税として所得税額×2.1%が追加課税されることになっております。

平成26年以降、上場株式の配当金には、復興特別所得税を含め、**20.315%（※）**の源泉徴収税率が適用になります。

（※）所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%

	平成25年12月31日まで	平成26年1月1日から 平成49年12月31日まで	平成50年1月1日から
所得税（含む復興特別所得税）	7.147%	15.315%	15%
住民税	3%	5%	5%
合計	10.147%	20.315%	20%

○源泉徴収が行われる場合の税率です。ただし、内国法人の場合は住民税が徴収されません。

○本ご案内は、上場株式の配当金に係る税金について、一般的な情報をご提供するために作成されたものであり、本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問合せください。本ご案内は平成25年8月時点の情報をもとに作成しております。



## 会社の概況

(平成25年10月31日現在)

- ◆社名 MICS化学株式会社
- ◆資本金 7億74百万円
- ◆創業 昭和34年2月
- ◆従業員 81名(他に臨時雇用者9名)
- ◆主要な事業内容

多層チューブフィルムの製造、販売  
ウレタンチューブフィルムの製造、販売  
グラビア印刷ならびに製袋加工  
シュリンクラベルフィルムの加工販売  
その他合成樹脂製品の販売

◆本社 愛知県愛知郡東郷町諸輪北山158-89  
電話 0561-39-1211  
URL: <http://www.c-mics.com/>

- ◆役員
- 代表取締役社長 三宅利定
- 取締役 伊藤公一
- 取締役 伊藤久美
- 取締役 原田尚知
- 取締役 丸山等
- 取締役 伊藤聡
- 常勤監査役 長谷川隆
- 監査役 田中孝治
- 監査役 佐原司郎

◆会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

◆事業所 (平成26年1月7日現在)

- 札幌営業所 札幌市手稲区新発寒6条1-1-5
- 仙台営業所 仙台市青葉区本町1-14-18
- 東京営業所 東京都中央区日本橋大伝馬町17-1
- 名古屋営業所 愛知県愛知郡東郷町諸輪北山158-89
- 大阪営業所 大阪市福島区福島1-3-11
- 広島営業所 広島市南区京橋町9-3
- 福岡営業所 福岡市博多区豊1-8-21
- 本社製造所 愛知県愛知郡東郷町諸輪北山158-89
- 東京製造所 埼玉県越谷市小曾川字居377
- 札幌製造所 札幌市手稲区新発寒6条1-1-5

- ◆子会社
- エイワファイン  
プロセッシング株式会社 埼玉県越谷市大間野町3丁目108
- 米思化学商貿  
(蘇州)有限公司 中国江蘇省蘇州市高新区鄧尉路9号

## ホームページのご案内

当社のホームページでは、会社情報、取扱製品などに  
加え、IR情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.c-mics.com/>



(証券コード: 7899)

愛知県愛知郡東郷町諸輪北山158-89  
電話 0561-39-1211(代)



## 株式の状況

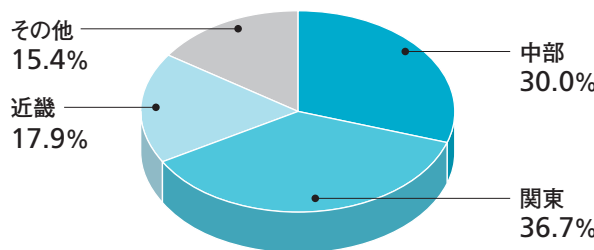
(平成25年10月31日現在)

発行可能株式総数 23,850,000株  
発行済株式の総数 5,850,000株 (自己株式610,606株を含む)  
株主数 1,070名  
上位10名の株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
盛田エンタプライズ株式会社	2,608,000	49.77
名古屋中小企業投資育成株式会社	210,000	4.00
MICS化学従業員持株会	131,374	2.50
MICS化学取引先持株会	128,700	2.45
株式会社三井住友銀行	120,000	2.29
歌川勝久	54,000	1.03
林隆司	52,600	1.00
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	51,100	0.97
佐藤兼義	50,300	0.96
伊藤公一	43,000	0.82

(注) 当社は自己株式610,606株を保有しておりますが、上記からは除外しております。  
また、持株比率については自己株式を控除して計算しております。

### ◆地域別株主構成



## 株主メモ

事業年度 5月1日～翌年4月30日  
期末配当金受領株主  
確定日 4月30日  
中間配当金受領株主  
確定日 10月31日  
定時株主総会 毎年7月  
株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 JASDAQ市場  
公告の方法 電子公告により行う  
公告掲載URL <http://www.c-mics.com/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、  
その他のやむを得ない事由が生じたときは、  
日本経済新聞に公告いたします。)

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱できませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。